

科学技術基本計画(平成13年度～17年度)に基づく
科学技術政策の進捗状況 (案)
【 概 要 】

平成16年5月26日
総合科学技術会議

I. 基本理念と科学技術を巡る諸情勢

【基本理念】

- ◆ 知の創造と活用により世界に貢献できる国の実現
 - ◆ 国際競争力があり持続的発展ができる国の実現
 - ◆ 安心・安全で質の高い生活のできる国の実現
- 新しい知の創造—
—知による活力の創出—
—知による豊かな社会の創生—

【科学技術を巡る諸情勢の変化】

求められる国際的な競争と協調

- 先端科学技術分野における各国の積極的な取組
- 我が国の国際競争力の低下、知的空洞化の懸念
- 地球温暖化、生命倫理、知的財産権等について国際協調下でのイニシアチブの必要性
- アジア諸国との戦略的な競争と協調の必要性

科学技術による経済活性化への期待

- 景気低迷の下で、科学技術による経済活性化・競争力強化への期待の強まり
- 産学官連携の本格的始動
- ノーベル賞受賞が国民に“夢と誇り”

科学技術と社会との相互作用の深まり

- 技術進歩に伴う新たな脅威・問題の発生
- 安全・安心な社会への科学技術による貢献の要請
- 科学技術の社会への説明責任の強まり

- 情報セキュリティ問題
- 食の安全への懸念
- 再生医療等生命倫理問題
- 地球環境問題

【意見】

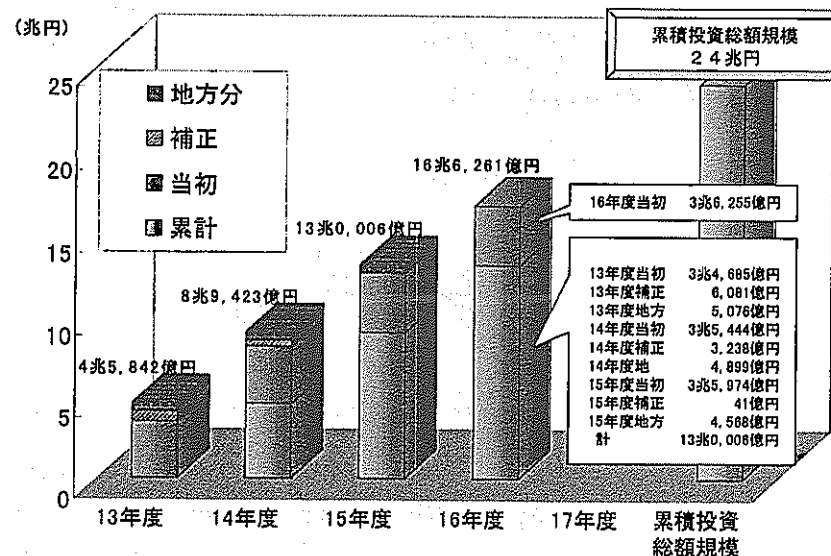
- 基本計画に掲げる3つの基本理念はいずれも妥当。
- 科学技術を巡る諸情勢の変化を踏まえ、今後、「科学技術政策の一層の戦略的展開」、「“知の創造”と“知の活用”との実りある連携」、「科学技術と社会との健全な関係の構築」の3つの視点から施策の充実・強化が必要。

II. 研究開発投資の拡充と重点化

1. 研究開発投資の拡充

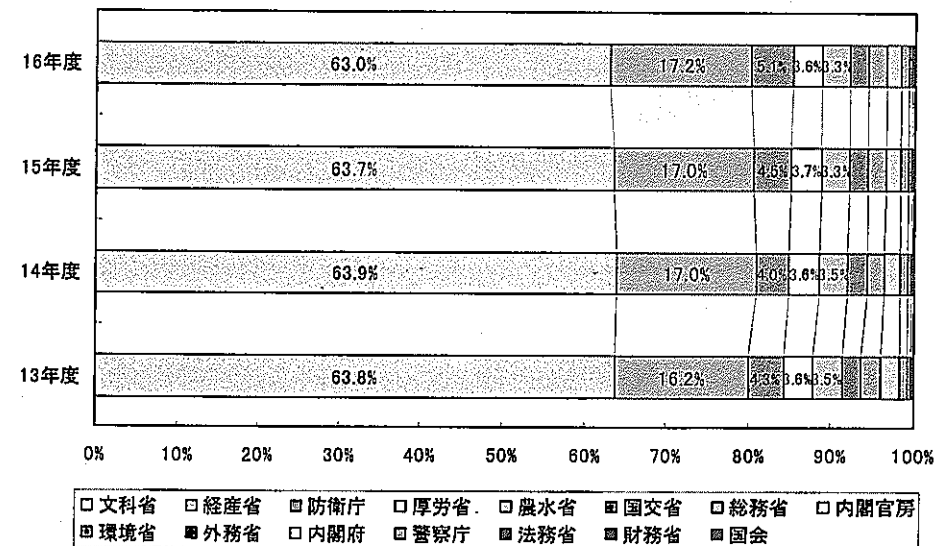
- ◆ 財政事情が厳しく、一般歳出予算が削減ないし横ばいである中で、科学技術関係予算は、着実に増加。平成13年から平成16年度までの政府研究開発投資の累計は13兆6,261億円。24兆円に対する進捗率は69.3%。(平成16年度の地方分は未集計。)
- ◆ 科学技術関係予算の省庁別シェアはほとんど変化していない。

● 第2期科学技術基本計画期間における政府研究開発投資額



※累積投資総額規模24兆円は、政府研究開発投資の対GDP比率1%、GDP名目成長率3.5%を前提。

● 科学技術関係予算の各省別内訳



【意見】

- 研究開発投資は着実に増加しているが、絶え間ない技術革新を創出するためには更なる投資の蓄積が必要。
- 各省庁別の縦割り予算の制約を超えて、科学技術関係予算の総合的かつ戦略的な展開を図るべき。
- 科学技術関係予算の約5割を占めることとなった国立大学法人及び独立行政法人の運営費交付金による研究開発の内容や成果に関して透明性の確保を図るべき。